

28日間の夏休み 花に水 餌を届けてくれてありがとう



夏休み前に、母ヤギさんのさゆかさんは実家に戻るといふことで、二年生の皆さんが卒業式を挙げてくれました。長い夏休みを、子ヤギだけで過ごすことになったのですが、二年生の子どもたち、保護者の皆様のご尽力により、元気に猛暑を乗り切った子ヤギさんたちでした。たくましく成長しています。同様にうさぎさんへの餌、花壇の水やりなど、ありがとうございました。84日間の二学期がスタートいたしました。

一人一人の興味・関心を基にした「一人一研究」の発表会



一朝一夕で済まない夏休みの宿題といふば、一人一研究。それぞれの興味、関心事を基に推論、観察、実験、分析、考察した様々な研究結果が、各学年、教室廊下壁面に掲示されています。どうして? なんで? もしかして? そういうことか? 本当かなあ? へえー! いや待てよ、やっぱり?! 感動した出来事の原点を明かそうとしたり、不思議な事柄の秘密を究明し合ったりした、友達の研究から学び合う機会も大切にしています。

稲荷山唱歌(いなりやましようか) ってどんな歌???

夏休み直前の7月24日に、稲荷山在住の方が「稲荷山八景唱歌」の歌詞カードを手にして、この歌について教えてほしい、調べてほしいと来校されました。本校の資料室のこともご存じで、稲荷山小学校の資料があるはずだからと、難題を課して学校を後にされました。「ふるさと治田」に学ぶ良い機会、今夏の一研究と覚悟して、資料室から「明治42年」前後の「学校日誌」を見つけ出し、創作に関わった関係者の記述がないか読み解きました。結果については、子どもたちにもお話しましたが、創作者が当時の稲荷山小学校長「下崎熊平」氏であるということだけで、楽譜もなく、レコードやテープなどの録音音源もなく、一体どんな楽曲なのか不明のまま夏休みが明けてしまいました。謎を解き明かす楽しみを味わっているところです。子どもたちを通して既に別紙にて歌詞カードをお配りしてありますので、何らかの情報が得られましたら、お知らせください。

研修会は座学に留まらず 流れゆくものを捉える研修も



子どもを各家庭に帰した夏休みは、教職員にとっては指導力向上に向けた研究・修養を行う絶好の機会。ALTを招いた英語の学習指導の題材開発、教育哲学を語る懇談会、PTA役員の皆様にも参加いただいたスマホ・ケータイ安全使用のための研修会、学校が立地する地域の歴史を学ぶ研修会等々、多岐にわたる研修を通して力を蓄えることができました。二学期始業式を二日後に控えた夏休みの最終盤には、恵愛スタッフの皆様と教職員の懇談会を開催。流れゆく麺を掴みながらの懇談。二学期もチーム治田、教職員力を合わせて、子どもたちとともに「前進」いたしますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

まだまだ残暑厳しいですが、三週間後には運動会開催

- 各学年の競技種目も決定して、運動会に向けての特別時間割が9月から始まります。安全第一として、怪我、事故なく練習を進められるよう取り組んでまいります。体力、気力の充実が緊張感のある練習を持続できると思います。栄養補給、十分な睡眠、健康管理をよろしくお願いいたします。
- 夏季休業を利用してエアコンの室内機の設置工事は完了いたしました。屋外の配管や電気設備等の設置工事は継続しております。学校再開となりましたので、土日を中心とした工事となります。花の水やり、小動物への餌やりなどで来校の際は注意願います。
- 草が元気よく生い茂ってしまいました。8月31日(土)早朝ですが、第二回PTA作業が予定されております。30日みどりの時間には、地域ボランティアの皆様も駆け付けてくださる予定です。お世話になります。よろしくお願いいたします。